

『地震を想定した避難訓練について』

- ・ 生徒の皆さん、『大阪 880 万人訓練』ご苦労さまでした。この訓練は、「南海沖を震源とする大規模地震が発生」したことを想定し、津波も含めてどのように対応するのかを目的のひとつにしています。
- ・ 『南海トラフ巨大地震』については、30 年以内に発生する確率は 70～80%と言われているので、君たちが生きている間に発生する可能性は非常に高いということになります。
- ・ 「もし、大規模地震が北区を襲ったらどれだけの被害が発生するのか？」については、皆さんの家庭にも配付されている『大阪北区ジシン本』に書かれています。
- ・ 一例をあげると、「北区内の 5,000 棟以上の建物が倒壊し、6 割以上の建物が損壊。高層ビルが乱立している状況から建物の揺れ幅が大きく隣の建物とぶつかり合って壊れることも考えられる。」と想定されています。
- ・ また、大地震の場合は、家の中の家具が倒れてきたり、テーブルや台の上に置いてあるテレビなどの電化製品やかなり大きな物まで飛んでくるようなこともあります。
- ・ 私は、何度か皆さんにお伝えしていますが、君たちのお家の寝室に倒れてくるような大きな家具はありませんか？ある場合は、金具で固定されているでしょうか。
- ・ 27 年前の『阪神淡路大震災』は早朝(5:46)に発生したため、寝ている状態で家具の下敷きになって亡くなったという被害が多くありました。この訓練を機会に、もう一度、お家の中を見直してみてはどうでしょうか。
- ・ しかしながら、君たちはずっと北区で生活をしているわけではありません。例えば、2 年生が『自然体験学習』で行くことになっている和歌山県も、3 年生が『修学旅行』で行くことになっている愛媛県や香川県で、もし『南海トラフ巨大地震』が発生した場合、想定される最大の津波は 20mとなっています。

- ・ 20m を超えるような津波に襲われると、学校の校舎の 4 階・5 階に逃げても完全に流されてしまうということになります。
- ・ 自分の住んでる地を離れた時のためにも、大地震による津波発生の場合は「できる限り高いところに逃げること」が基本になることと、あわせて今居る場所（海に近いなど）によっては、どこに避難すべきかを前もって確認しておくことが大切です。
- ・ 地震以外の自然災害について 1 点お知らせをしておきます。9 月になると、日本では台風や大雨による被害が例年多くなります。
- ・ 各地で大規模な台風や集中豪雨、長期の大雨など日本各地で頻繁に風水害が起こる時代となり、北区においても“よそ事”ではなくなってきました。実は、北区は北・南・東の 3 方が川に囲まれ、風水害の被害を受けやすい状況にあります。
- ・ 来週の月曜日に大阪市の『非常変災時の措置について』という保護者向けのプリントを配付する予定にしています。内容については
- ・ 自然災害を防ぐため、学校休業になる基準として良く知られているのは『暴風警報』ですが、例えば、北区のいずれかの地域において大阪市(大阪市長)より河川氾濫の「警戒レベル 3(高齢者等避難)」、「警戒レベル 4(全員避難)」の発令があれば、学校は臨時休業の措置をとることになります。
- ・ その際、『大阪 880 万人訓練』と同様の防災スピーカーによる放送と緊急速報メール(今回は大雨警報のため中止でした)が配信されますので、中学生の皆さんも知っておいてください。